

令和4年 第7回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和4年4月12日（火）午後1時

場 所：教育委員会室

教育長	蓮沼千秋
教育長職務代理者	井戸道代
委員	平井俊一
委員	天野安喜子
委員	庭野正和

事務局	教育推進課長	飯田常雄
	学務課長	大關一彦
	教育指導課長兼教育研究所長	
		佐藤嘉弘
	学校施設課長	八木邦夫
	統括指導主事	百々和世
	統括指導主事	千葉一知

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	杉浦佳之
	同 主査	志村一彦

蓮沼教育長	開会時刻 午後１時 ただいまから、令和４年第７回教育委員会定例会を開催いたします。 本日は１名の方から傍聴の申し出がありますが、許可してよろしいでしょうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、傍聴人の方の入室を許可します。 〔傍聴人入室〕
教 育 長	それでは、日程第１、署名委員を決定いたします。天野委員と庭野委員にお願いいたします。 続いて、日程第２、議案の審議に入ります。 はじめに、第１５号議案『江戸川区委員会地区推進事業「選びたい未来を創る－かながえ、えらぶ、わたしのこたえ－」』開催に伴う教育委員会後援名義の使用承認についてを議題とします。
飯田教育推進課 長	それでは、私からご説明をさせていただきます。 お手元に申請書類一式をお配りさせていただきました。今回、初めての後援名義の申請でございます。申請者は、公益社団法人東京青年会議所江戸川区委員会でございます。行事名は、江戸川区委員会地区推進事業「選びたい未来を創る－かながえ、えらぶ、わたしのこたえ－」でございます。事業目的につきましては、後ほど企画書でご説明をいたします。実施時期につきましては、令和４年７月２３日（土）でございます。会場は、タワーホール船堀のイベントスペース瑞雲であります。事業規模、こちら、６，０００人となっておりますが、区内の在住、在学する小学生男女、保護者も含めて２００名、これが会場に入れる人数というふうにお伺いをしてございます。経費の徴収はございません。青年会議所さんにつきましては、例年、わんぱく相撲という事業を行っておりまして、そのわんぱく相撲につきましては、例年、教育委員会としても後援名義をつけさせていただいてございました。コロナ禍でその事業ができないということで、今回、代わりといたしますか、違った事業に取り組むということで、この地区推進事業を行うということでお伺いしてございます。

	それでは、次のページをご覧ください。 企画書にあたるものになりますが、最初の段落、上から３行目の一番右のところから読ませていただきます。「世界全体がＳＤＧｓに取り組む中で、日本が国際社会において存在感を維持し、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を達成するには、ＳＤＧｓを根底に据えた次世代の国際社会を創出・牽引できる人材育成が必要だ」という考えというところでございます。そういった中で上から三つ目の段落をご覧ください。今回のフォーラムでは、①子どもたちがＳＤＧｓへの理解を深める。②国際的な多様性を考え、国外の取り組みに目を向け、世界に関心を持ってもらえるよう各国の家庭にインタビューをした内容の映像を制作し、上映する。③自分が住んでいる地域の環境や問題を知ることによって当事者意識を持ち、これからの未来に何が必要なのかを考える機会を創る。④その上で、自分と他者を互いに尊重し、自分の意見を明確に伝えるコミュニケーション「アサーティブコミュニケーション」方法を用いてＳＤＧｓ目標七つ目「再生可能エネルギー」を主軸とした講演を行います。また、その④の講演の中では、講師をお招きし、東日本大震災を経て考える日本における再生可能エネルギーと、原子力発電を含む従来型エネルギーについて、それぞれの役割や必要性の説明を上記のコミュニケーション方法を用いて議論及び意見交換を行うというのが今回の講演会の内容でございます。一番下の記書きにございます開催日程等につきましては、先ほど申し上げたとおりです。 次のページにございます予算書、また、その次のページにございます青年会議所の役員名簿、こちらも参考資料としていただいているところでございます。この資料の説明につきましては、以上です。
教 育 長	この件に関しまして、何か質問・意見等ございますか。
庭 野 委 員	東京青年会議所、今ご説明にもありましたように、いつもでしたらわんぱく相撲ということなんですけれども、それができないという風潮でありますので、こういった新しい企画を考えてあげたんだというふうに思います。今、ご説明にありましたように、ＳＤＧｓであるとか、多様性、それからエネルギー環境問題といった、そういった重要なワードが出ておりますけれども、これは江戸川区の施策ともしっかりとマッチしておりますので、内容としては大変すばらしいものであるなというふうに思います。これで、子どもたちがしっかりとこういった問題に正面から取り組めるように、青年会議所の方々がサポートしてくださるということは、いい機会ではないかなというふ

	うに思います。一日限りということでもありますけれども、ぜひ、こういった動きというのでしょうか、これは末永くというか、江戸川区が目指している、例えば2030年とか2100年とかそういったところまで続いていくようなものであるといいなというふうに思います。私としては、ぜひ後援をして、私も参加してみたいなというふうに思います。
教 育 長	ありがとうございます。ほかの委員さん、いかがですか。
平 井 委 員	こちらの参加上限200名とありますけれども、募集方法及び応募方法というのは決まっているのでしょうか。
教育推進課長	開催する概ね1か月前ぐらいだというふうにお伺いしていますが、チラシを作成して、区内小学校に配布をする。周知方法については、従来型の紙のチラシをお送りするというのではなくて、そのチラシの内容を一人一台のタブレットパソコンのほうにお送りして、子どもたちに周知することができないかということで今、ご相談を承っているところでございます。
平 井 委 員	ありがとうございます。
教 育 長	よろしいですか。ほかいかがでしょう。 なければ私のほうから。私も先日、代表の方にお会いして、とても熱い想いを語っていただきました。そうした気持ちも大事にしながら応援していきたいと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。 ほかになれば、第15号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、原案のとおり決定いたします。 続きまして、日程第3、教育関係事務報告にまいります。 はじめに、「教育委員会後援名義の使用承認について」の報告をお願いいたします。
教育推進課長	それでは、ご報告をさせていただきます。 お手元には教育委員会後援名義等使用申請一覧、並びに関係資料をお配り

させていただいているかと思います。A 4 横版の資料をご覧ください。今回、27 回目の後援名義の申請になりますが、行事名、第 27 回 MOA 美術館江戸川区児童作品展でございます。申請者は、MOA 美術館江戸川区児童作品展実行委員会委員長でございます。事業目的は、子どもたちの創作活動を奨励することで、子どもの健全な成長を願い、社会教育及び情操教育の一端を担うことを目的とし、児童の絵画、書写の展示及び表彰を行うというものでございます。

実施日時は、令和 4 年 11 月 26 日（土）～ 27 日（日）。実施会場は、タワーホール船堀 1F 展示ホールでございます。対象は、区内の小学生。経費の徴収はございませんが、1 口 1,000 円の協賛金の受けつけをしているというふうにお伺いしてございます。観覧についても無料です。賞状・副賞といたしましては、教育委員会賞ということで賞状をお渡ししたいというふうにお伺いしているところでございます。

次の資料をご覧くださいませでしょうか。こちらは、作品募集・応募のお願いというお手紙でございますが、参考にご説明させていただきます。

真ん中より少し下のところでございます。この MOA 美術館の作品展につきましては、江戸川区だけじゃなくて、日本全国で開催しているそうですが、「1. 開催の願い」の五つ目の段落をご覧ください。第 32 回となる昨年は、海外 7 か国 14 会場を含む 238 会場で開催し、応募総数 16 万 5,061 点、参加校が 4,884 校という規模で実施されたそうです。その中で、次の段落にございます江戸川区児童作品展は、昨年は、展示会場であるタワーホール船堀がワクチン接種会場となったために展示を行うことができなかったということでございますが、373 点の絵画、そして書写が 177 点、合計 570 点、31 の小学校からの参加があったというところでございます。会場での展示の代わりに区内の医療機関 10 会場において地域展ということで展示を行ったそうです。

また、この応募があった中で、区長賞を受賞した作品につきましては、江戸川区大会からこの MOA 美術館の全国大会といいますか、本大会のほうに進むというところでございますが、昨年は江戸川区の児童がこの全国児童作品展におきまして、厚生労働大臣賞ということで、非常にすばらしい賞を受賞したというふうにお伺いをしてございます。今後、こちらのチラシにございますように、区内の小学校に周知をさせていただいた上で作品を募っていくというふうにお伺いをしてございます。

今年度は 11 月 26、27 日にタワーホール船堀で展示会及び表彰を行えばということ考えているというふうにお伺いしてございますが、昨年度同

	様、このあたりにつきましては、コロナの状況を鑑みてということで伺って ございます。説明は以上でございます。
教 育 長	今の件につきまして、何か質問等ございますか。
庭 野 委 員	昨年、区長賞が厚生労働大臣賞を受賞したということで大変すばらしい子どもたちの力が示されたと思うんですけども、ここに書かれてありますように、医療機関10会場にて地域展を開催したとあるんですけども、この医療機関10の会場というのはどういうところか、お分かりでしょうか。
教育推進課長	すみません、具体的な会場の名称は確認してございません。
庭 野 委 員	これは、いわゆるある程度大きな病院のことを指しているんでしょうか。
教育推進課長	恐らく、ある程度大きな病院のロビー等、少しご紹介できるところで小さな展示会を開催したというものかと思われます。
庭 野 委 員	続けて、その裏面ですけども、設定する人がございますけれども、教育委員会賞は、書写にあるんですけども、これまでもずっとやっていて気がつかなかったんですが、絵画にはないのは何か理由があるんでしょうか。
教育推進課長	具体的な理由はお伺いしていないんですけども、様々な賞が設定をされてございます。議長賞、区長賞、医師会会長賞とございますが、書写か絵画、それぞれ区長賞を除いてどちらかに賞を設けるというふうな形で整理をされているものかと思っております。
庭 野 委 員	ありがとうございます。
教 育 長	ほかいかがですか。
平 井 委 員	医師会と密接なつながりがあるということで病院にということだと思いますが、区の事務所等での掲載の要望とかはなかったのですね。
教 育 長	ほかにはいかがでしょうか。

天 野 委 員	芸術作品ということで、子どもたちもこれだけ大きなイベントということで大きな目標もできますでしょうし、心を豊かにするというでもありますので、心を育てるという意味では、ものすごくいい企画だなというところを感じました。
教 育 長	ありがとうございます。 ほかになれば、ただいまの報告事項を了承いたします。 次に、「新規採用教員及び期限付任用教員の採用状況」について事務局から説明をお願いします。
佐藤教育指導課 長	それでは、新規採用教員及び期限付任用教員の採用状況について、口頭でご報告申し上げます。 はじめに、今年度の新規採用教員及び期限付任用教員の採用状況についてでございます。新規採用教員は、小学校で90名、中学校で33名、合計123名でございます。この中には、昨年度期限付任用教員で本年度正規教員となった11名を含んでございます。今年度の期限付任用教員は、4月8日現在で小学校6名、中学校5名の合計11名を任用し、正規の新規採用教員とあわせると、134名となります。小学校は正規の新規採用が昨年度が82名、今年度は90名の採用であり、8名の増となります。中学校が新規の採用が昨年度44名、今年度は33名の採用見込みでございまして、11名の減となります。いずれにしても安定した学校経営を行うためには採用する数にかかわらず、どの学校においても中堅教員以上が連携して、さらに組織的な人材育成を実施するよう、各校に求めてまいります。
教 育 長	ただいまの件に関しまして、何か質問等ございますでしょうか。 それでは、私のほうから。4月4日にこの方々が集合して入区式がございました。私もその中で挨拶させていただきました。初心忘るべからずということで、教師を目指したときの思いとか、ようやく念願叶って教師になった新鮮な気持ち、子どもたちといろいろなことをやりたいとか、学び続ける教師を目指したいとか、信頼される教師になりたいとかという気持ちを持ち続けて、いろいろな節目節目で初心に返って頑張ってもらいたい。そして、皆さんとの出会いを楽しみにしている子どもたちや保護者や地域の方々の期待に応えるためにも大きく成長してきてくださいというような話をさせていただきました。私も校長時代に入区式の様子を見ていたことがあるんですが、ときどき居眠りをして後ろから注意されたりということが昔あったんで

	すが、今年といいますか、２年間ぐらいやっていなかったのかな、今年の新規採用教員はとても立派でびしっとして、私の話をしっかり聞いていました。 この件に関して、いかがでしょうか。よろしいですか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、報告事項を了承いたします。 次に、「いじめ電話相談について」事務局から説明をお願いします。
佐藤教育研究所 長	それでは、いじめ相談件数、数字のご報告をさせていただきます。 昨年度になりますけれども、今年の３月は、件数は１件でございます。昨年度１年間を通して、相談件数は１５件でございます。 以上でございます。
教 育 長	ありがとうございます。 この件に関しまして、何か質問等ございますか。
平 井 委 員	令和３年度ということで令和２年度に比べて特徴があれば教えてください。
教育研究所長	令和３年度はコロナの関係があるかどうかというところなんですけれども、親子関係に関する相談が……。
平 井 委 員	件数的には……。
教育研究所長	すみません、件数確認してまいりまして、次回報告させていただきます。
教 育 長	これはまた次回ということで、分かりました。 ほかはございますか。
庭 野 委 員	今のデータというのは、その前の年のを小さく書かれているのではないですか。
教育研究所長	こちら、同様、同一案件で、相談の回数でございます。つまり一つの案件

	で3回相談した場合、15件、18回と。
庭 野 委 員	3月に中学校2年生の暴力でというところがあるんですけども、これは中学2年生ですから、今は3年になっていると思うんですけども、何か尾を引いているとか、そういった状況がないでしょうか。
教育研究所長	詳細については個人情報になりますので、控えさせていただきますけれども、相談員の話ですと、少しからかいの感じがあったというニュアンスは受け取ったということでございます。その後の相談はございませんので、一度きりということでございます。
庭 野 委 員	ぜひ、一度だけで解決してもらいたいなというふうに思います。 以上です。
教 育 長	ほかいかがでしょうか。
	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	よろしいでしょうか。 それでは、ほかになれば、ただいまの報告事項を了承いたします。 以上をもちまして、令和4年第7回教育委員会定例会を終了します。 閉会時刻 午後1時21分